

<ステップ 3> 対応策の検討&行動宣言

グループ番号: 25 湖西市

○ 課題の絞り込みと対応策

優先 順位	今後、地域で 取り組むべき課題	考えられる対応策
1	在宅医療情報の集約 発信	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の情報調査 ・ " まとめ →連携センター集約 ・ " 公開 ・各職種の役割示す ・推計値示す
2	専門職及び行政への 在宅医療の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種研修開催 ・ " 会への各所属長 etc の参加促す (担当者まかせの現状) ・ " で理解をあげる ・推計を示す (必要性説明)
3	市民への説明 意識改革・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅での看取りについて 等 講演会や講座の実施

○ 行動宣言

平成 30 年度末までに実施する具体的な対応 (いつ、誰が、何をするか…)			
何	誰	いつ	内容
□在宅医療情報、まとめ、発信	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体でとりまとめ ・市 で全まとめ 連携支援センター 	① 6 月上旬 (医師会 ② 7 月協議会で説明 ③ 市内発信	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療調査 (データベース) ・お助けブック作成
□専門職と行政の在宅医療の 理解をあげる 多職種研修実施と充実 (所属長、管理者も参加へ)	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会主催 行政 	<ul style="list-style-type: none"> ・年 2 回以上 	
□市民の在宅医療・介護への認 知と理解を上げる 市民への講演会や講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会主催 行政 		

(3) 平成 30 年度 多職種研修内容について（医師会委託）

在宅医療・介護連携推進事業（カ）医療・介護関係者の研修項目に該当

地域の医療・介護関係者の連携実現のため、多職種でグループワーク等の研修を行う他、医療や介護の研修を行うこととされています。

◆内容希望・意見

参考) 平成 29 年度 実施内容

「歯科から発信する疾病対策」

「在宅医療の充実・心不全のチーム医療」

「地域包括ケア病棟について・道路交通法改正に伴う認知症診断」

(4) 平成 30 年度 住民普及内容について（医師会委託）

在宅医療・介護連携推進事業（キ）地域住民への普及啓発項目に該当

在宅医療・介護連携に関する講演会の開催、パンフレット作成、配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携理解を促進することとされています。

◆内容希望・意見

参考) 以前実施内容 「自宅で大往生」

在宅医療介護連携事業 キ住民への普及具体例

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療や介護について理解し、在宅での療養が必要になった時に必要なサービスを適切に選択できるようにすること。 ・終末期ケアの在り方や在宅での看取りについて理解する。在宅療養を継続するための重要性がわかる内容 ・若い世代、在宅医療介護に興味がない方、あまり触れる気概がない方に対しても情報を発信し理解を広める。
具体例 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療について・・・在宅医療を身近に感じられる内容、医療・介護の役割が見える等内容 「在宅医療をどう選ぶか」「在宅医療が始まってからの日常」 「退院支援や退院カンファレンスについて（模擬カンファレンス）」 ●介護について ●高齢化による身体変化 ●介護予防事業について ●看取りについて ●介護や老後について 等々
方法	<p>広報、ホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ、ちらし、パンフレット、出前講座、自治会老人会PTA等への既存組織への働きかけ、企業等での勉強会、動画、劇等もあり</p>